

協力企業・協力団体 (順不同)

エコツーリズムプロジェクトチーム員

私たちは、かけがえのない奥入瀬溪流の自然環境を保全するため、訪れる皆さんに自然の大切さを理解してもらい、持続的な保全と、自然環境を活かした地域振興を図る「奥入瀬溪流エコツーリズムプロジェクト」を実施しています。

協賛企業

NTT東日本 青森支店／ジェイアールバス東北(株)
青森県ウォーキング協会／上北農産加工農業協同組合
田中建設(株)／(一財)十和田湖ふるさと活性化公社
丸井重機建設(株)

東北電力(株)十和田営業所／(株)青工 十和田支店
紺野建設(株)／みちのくコカ・コーラボトリング株式会社／蔦温泉売店
東北インテリジェント通信(株)／田中建設工業(株)／(株)中達組
十和田おいらせ農業協同組合／(株)吉田産業／(公社)十和田青年会議所
十和田食堂／程川電気工事(株)／(株)十和田ビルサービス／十和田タクシー(株)
十和田シティホテル／(株)ふじの

「併催イベント」提供・協力

十和田湖観光汽船(株):シャトルバスチケット特典提供
十和田観光電鉄(株)十和田湖双胴船:シャトルバスチケット特典提供

「併催エコツアー」協力

青森県ウォーキング協会／NPOあおもり観光誘客推進協会
NPO法人十和田奥入瀬郷づくり大学／青森県立十和田西高等学校

「奥入瀬エコロードフェスタ」スタッフ協力

青森県警察／青森県／十和田市／十和田市交通指導隊／(社)十和田市観光協会

お問合せ

奥入瀬溪流利用適正化協議会事務局
奥入瀬溪流エコツーリズムプロジェクト実行委員会事務局
《代表》青森県県土整備部道路課整備推進グループ TEL.017-734-9651

奥入瀬溪流

Oirasekeiryu Eco Tourism Project

エコツーリズムプロジェクト

2013 実施報告書

奥入瀬溪流利用適正化協議会
奥入瀬溪流エコツーリズムプロジェクト実行委員会

豊かな自然を快適に味わう為に

奥入瀬溪流は車で気軽に立ち寄ることができる国立公園である反面、観光シーズンは観光車両が殺到し、渋滞を引き起こしています。また、路上駐車やアイドリングをしたままの車両も多く見受けられ、奥入瀬溪流の自然環境はもちろん、散策(ウォーキング)をしている利用者の方々にも決して良い環境とは言えません。

奥入瀬溪流利用適正化協議会では「自然環境保全と渋滞解消」を目的とし、マイカー交通規制の試行に取り組んでいます。しかし、溪流沿いの国道102号は地域の生活道路であり、産業道路としての物流機能も担っており、また、迂回路では大型車のすれ違いが困難となっています。

このため、規制車種や期間の拡大のためには、さまざまな課題が残っておりますが、今後毎年の試行を継続し、皆様のご理解をいただきながら定着を図って参ります。

目次

P 3 平成25年度マイカー交通規制試行結果

P 5 交通規制中の奥入瀬溪流

P 6 来訪者アンケート結果(H23～H25)

P 7 奥入瀬溪流エコロードフェスタ エコツアー催行結果

P11 その他のイベント 催行結果

P13 奥入瀬溪流エコツーリズムフォーラム2013

P14 奥入瀬溪流エコロードフェスタの記録

はじめに

奥入瀬溪流は、十和田八幡平国立公園の中で最も保全基準の厳しい特別保護地区に指定されており、自然環境を良好に保全すべき地区です。

奥入瀬溪流利用適正化協議会では、自然環境保全と渋滞解消を目的に平成15年からマイカー交通規制を試行しており、今年で8回目の実施となりました。

マイカー交通規制は、自然環境保全や渋滞解消につながるだけでなく、本来の自然美や溪流美をそのままに活かす環境を創出する取り組みです。

奥入瀬溪流エコツーリズムプロジェクト実行委員会では、「奥入瀬溪流エコロードフェスタ」として、マイカー交通規制の環境の中で、奥入瀬溪流三里半ウオークや高校生ボランティアガイドウオーク、巨木探検ツアー等のエコツアーを催行しました。

東日本大震災後、観光客が激減する中、これまで以上に十和田湖・奥入瀬溪流を身近に感じていただくとともに、県内外からの観光客の誘致に繋がるきっかけとなるよう努めたいと思います。

これからも、自然を尊重し、自然に感謝し、永続的に保全する努力を行い、奥入瀬溪流の自然の奥深さや幅広い魅力をより多くの方々に知っていただけるよう、官民一体となって取り組んで参ります。

これらの取り組みは、県内外の企業の皆様からの御協賛と地元関係団体をはじめ多くの皆様から支えられています。

ここに今年度の事業が無事に終了できましたことを事務局、スタッフ一同より深く感謝申し上げますとともに、今後ともよろしく一層のご理解、ご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

奥入瀬溪流利用適正化協議会

奥入瀬溪流エコツーリズムプロジェクト実行委員会

平成25年度マイカー交通規制試行結果①

紅葉のピークと重なる日程でしたが、前日に日本に上陸した大型台風の影響から参加者は伸びず、平年の半分程度の利用者数となりました。

開催中は大きく天候が崩れることもなく、無事安全に奥入瀬溪流マイカー交通規制を行うことができました。

来年度以降も継続して実施を予定しておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。



平成25年度マイカー交通規制試行結果②

規制の概要

試行日時	H25.10.26(土)	H25.10.27(日)	規制車両外	バス、大型、中型、タクシー、自動二輪等
気象状況	曇り	曇りのち雨	シャトルバス	焼山⇄休屋 20分又は15分間隔 往復フリーバス800円
規制時間	9:00~16:00		駐車場	無料:焼山(計1箇所:270台) 有料:休屋(計2箇所:660台)
規制車両	マイカー車両(レンタカー含む)			

試行結果の概要

シャトルバス利用者数

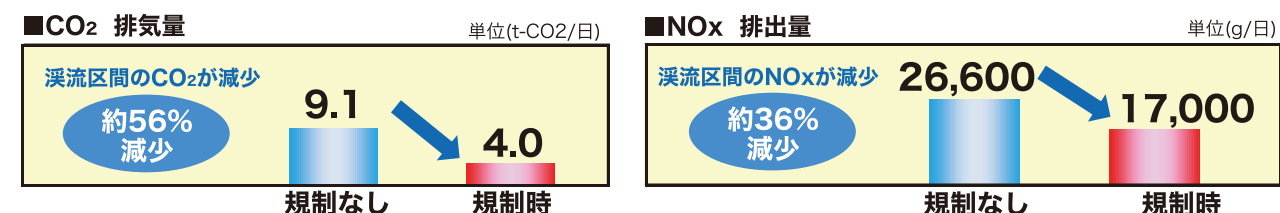
10/26(土)	602人
10/27(日)	950人
合計	1,552人

駐車場利用台数

10/26(土)	約490台
10/27(日)	約880台
合計	約1,370台

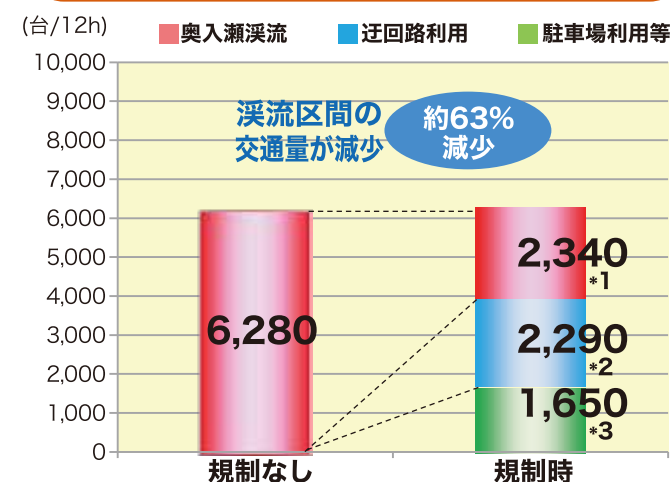
温室効果ガス・大気汚染物質が大幅に減少

マイカーを規制した結果、溪流区間の交通量が減少したことにより、温室効果ガス(CO₂)、大気汚染物質(Nox)が大幅に減少しました。



※1.算定方法は「客観的評価指標の定量的評価指標の算定方法(案)」に基づく ※2.「規制なし」で最大となった、H25.10.19(土)の調査結果を計上

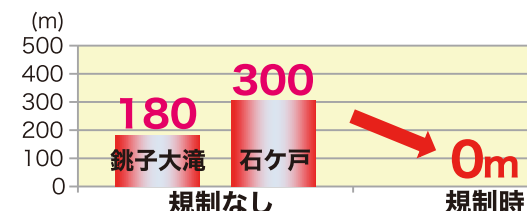
溪流区間の交通量は約63%(約39百台)減少



※1.「規制なし」とは、当日の規制を実施しなかった場合に想定される交通量推計値
 ※2.「規制時」とは、H25.10.26(土)・H25.10.27(日)の調査結果に基づく交通量
 ※1.惣辺交差点交通量調査結果(溪流区間)
 ※2.青ブナ山交差点交通量調査結果(迂回路利用)
 ※3.H25駐車場利用台数×0.6(H15駐車場利用者アンケート調査結果より)×往復

渋滞が解消

溪流区間の交通量の大幅な減少により渋滞が解消しました。マイカー交通規制により快適な溪流環境となっています。



※1.「規制なし」とは、H25.10.17(木)、19(土)、20(日)の調査結果
 ※2.「規制なし」で最大となった、H25.10.19(土)の調査結果を計上

交通規制中の奥入瀬溪流



溪流の駅



溪流散策風景



溪流散策風景

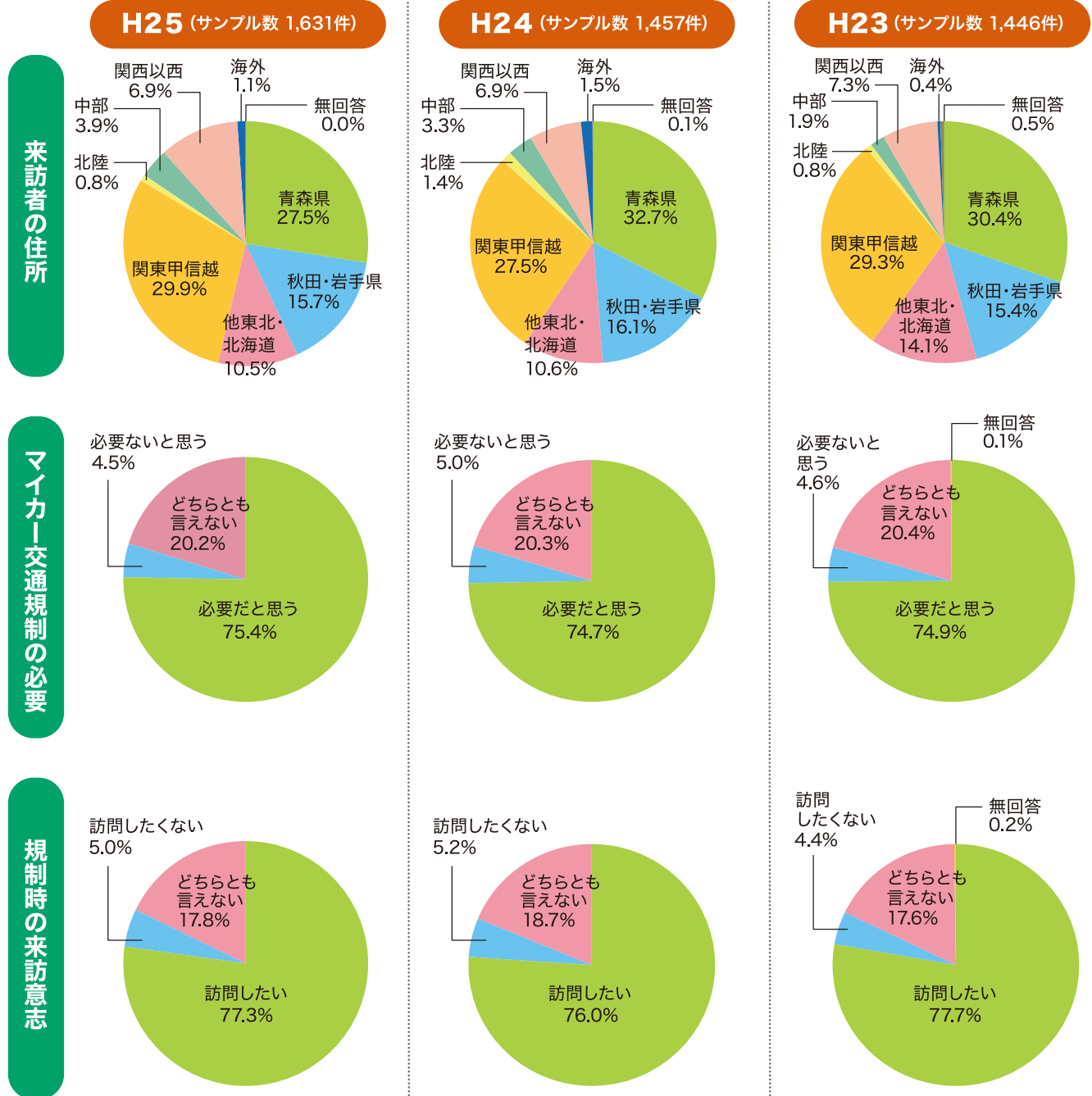


溪流散策風景



溪流散策風景

来訪者アンケート結果(H23～H25)



フリーアンサー

FREE A 意外と歩道が狭くて大変だった。
(30歳未満/男性 ■埼玉県)

FREE A こういう規制は必要で代替交通で
便利を図ればいいと思う。
(60歳以上/男性 ■神奈川県)

FREE A 紅葉がきれいです。バスの排気ガスが
きれいになるといいですね。
(40歳代/女性 ■神奈川県)

FREE A シャトルバスの便が多く不便なく観光
できました。(40歳代/女性 ■京都府)

FREE A 自然を守ることの大切さを実感し季節の
素晴らしさを味わえて感激しました。
(60歳以上/女性 ■愛知県)

奥入瀬溪流エコロードフェスタ エコツアー催行結果①

マイカー交通規制によって、普段とは違う静寂な奥入瀬溪流が生まれます。この機会に、多くの皆様にその魅力を体感していただくため、奥入瀬溪流エコツーリズムプロジェクト実行委員会では、様々なウォークイベント、自然ガイドツアー等のエコツアーを催行しました。

エコロードフェスタ期間だけでなく、通年でのエコツーリズム観光推進に向けて、今後も幅広いメニューを検討し、皆様に提供していきたいと考えています。



"青森の秋"を感じませんか？

青森500選チャレンジウォーク

青森県ウォーキング協会・NPOあおり観光誘客推進協会

日本市民
スポーツ連盟
認定大会

コース30km

青森県内の「美しい日本の歩きたくなるみち500選」認定コース。
奥入瀬溪流をはじめとする“青森の秋”を感じませんか？

標準
コース



10/25 八戸前泊【蕪島 八戸シーガルビューホテル】
500選青森④のスタート地点にあるホテル

美しい日本の歩きたくなるみち500選

10/26 青森 9 7:45～9:30 種差海岸・渚と風のみち 徒歩/2時間 8.0km

種差海岸 9:40 ▶ バス移動 ▶ 下北半島・尻屋崎ビジターハウス

青森 4 13:00～14:45 秘境・下北半島尻屋崎のみち 徒歩/1時間45分 7.0km

尻屋崎 15:00 ▶ バス移動 ▶ 18:00 十和田湖畔 休屋 泊

休屋 8:15 ▶ 湖上遊覧 ▶ 9:05 子ノ口

10/27 青森 11 9:10～12:00 十和田湖奥入瀬溪流のみち 徒歩/3時間 8.5km

石ヶ戸 12:15 ▶ バス移動 ▶ 14:00 南部町

青森 8 14:10～15:40 ふくち里山バーデパークのみち 徒歩/2時間 6.5km

南部町 15:50 ▶ バス移動 ▶ 16:10 八戸駅

青森県 500 選 11 コース全て完歩のチャンス！

※10月19日・20日開催の「縄文の杜あおりツーデーマーチャセックウォーク」で500選残り7コース企画いたします。



湖上遊覧

奥入瀬溪流エコロードフェスタ エコツアー催行結果②



美しいブナ林の紅葉と溪流のせせらぎを歩く

奥入瀬溪流三里半ウォーク

青森県ウォーキング協会・NPOあおり観光誘客推進協会

コース14km

日本市民
スポーツ連盟
認定大会

美しい日本の
歩きたくなるみち500選

～美しいブナ林の紅葉と溪流のせせらぎを歩く～

奥入瀬溪流全区間14km(三里半)、約4～5時間のコースです。

実施日 2013年10月26日(土)、27日(日) 参加費 3,000円

集合場所 奥入瀬溪流館(焼山) 集合 9:40 出発 10:00

■シャトルバス代 ■十和田湖遊覧船
■傷害保険を含みます。

コース 奥入瀬溪流館(焼山) ▶ 奥入瀬溪流 徒歩/14km ▶ 子ノ口 ▶ 湖上遊覧 ▶ 休屋



奥入瀬溪流エコロードフェスタ エコツアー催行結果③



奥入瀬溪流見所3km満喫！1時間コース！

コース3km

高校生ボランティアガイドウォーク

NPO法人十和田奥入瀬郷づくり大学

高校生ボランティアガイドウォーク 十和田西高校の生徒さんの協力によるガイドが同行します。

実施日 2013年10月26日(土)、27日(日) 参加費 無料

参加方法 9:00 から11:15 の間に出発するシャトルバスへ高校生ボランティアガイドが同乗しますので、石ケ戸バス停降車時にボランティアガイドのところへお集まりください。

A コース 9:00 ～ 10:40 の間に出発

所要時間 2時間30分 休屋 シャトルバス ▶ 石ケ戸 ▶ 雲井の滝 ▶ シャトルバス ▶ 休屋 (1時間15分)

B コース 9:00 ～ 11:15 の間に出発

所要時間 1時間50分 焼山 シャトルバス ▶ 石ケ戸 ▶ 雲井の滝 ▶ シャトルバス ▶ 焼山 (1時間15分)



奥入瀬溪流エコロードフェスタ エコツアー催行結果④



日本一のブナ「森の神」と重要文化財を体感しよう！

巨木と重要文化財(旧笠石家)めぐり

NPO法人十和田奥入瀬郷づくり大学

日本市民
スポーツ連盟
認定大会

巨木探検ツアー 認定ガイドが同行します。

実施日 2013年10月26日(土)、27日(日) 参加費 500円

集合場所 焼山駐車場の受付テント

スタート 10:00/13:00 各回先着 20名

コース

所要時間 2時間 焼山 ツアー ▶ 日本一の樺ノ木 ▶ ツアー ▶ 天然記念物の大銀杏 重要文化財旧笠石家 (南部昔語り) ▶ ツアー ▶ 焼山



その他イベント 催行結果①

休屋・休平地区



その他イベント 催行結果②

焼山地区



電気バス試乗会

環境にやさしいバス運行の今後の可能性や課題等を調査することを目的に、電気バス試乗会を実施しました。

運行区間

焼山⇄子ノ口

8:50~16:50の間に4往復

走行距離 約14km 所要時間 約40分



エコツアーステーション

《設置場所/休屋棧橋前》

エコツアーステーションでは、十和田湖・奥入瀬渓流で行われているエコツアーについて様々な情報発信をしました。また、「セグウェイ」の試乗体験(休屋のみ)など、多くのお客様にお立ち寄りいただきました。

情報を発信しているエコツアーリスト

- ネイチャーランプリングツアー
- スノーランプリングツアー
- カヌーツアー
- 自然ボランティアガイド

"ecoもび"展示会

《展示場所/休屋棧橋前》

奥入瀬渓流の環境問題、自動車利用の在り方を考えていただくことを目的に、休屋地区内で電気自動車の展示会を実施しました。



電動バイク展示

第7回 奥入瀬溪流エコツーリズムフォーラム2013

昨年に引き続き今年も「奥入瀬溪流エコツーリズムフォーラム2013」が、十和田市の市民文化ホールで開催されました。奥入瀬溪流周辺では今年5月、溪流を回り道する国道103号「青楓山(あおふなやま)バイパス」が国の事業として採択されました。そこで国や青森県、十和田市は現在、豊かな自然を保護するため、溪流沿いを通る国道102号での車両規制を検討しています。フォーラムでは市民ら約200人が、タレント高木美保さんと観光カリスマ山田桂一郎さんの講演や、三村申吾知事を交えたフリートークを通じて、奥入瀬溪流の活用や自然保護について考えました。

実施日 2013年11月30日(土) 14:00~16:30

場所 十和田市民文化センター
[視聴覚ホール]

主催 NPO法人十和田奥入瀬郷づくり大学

共催 奥入瀬溪流エコツーリズム
プロジェクト実行委員会



特別 講演

タレント
高木 美保さん

たかぎ・みほ 1962年生まれ。東京都港区出身。年、映画「Wの悲劇」でデビュー後、多くのドラマに出演。バラエティ番組にも挑戦し、お茶の間の人気を集める。年月、自然と共にある生活を求めて、栃木県那須高原に住まいを移し、農業にも取り組む。



テーマ 奥入瀬との出会い 地元の良さ笑顔で伝えて

観光客は心のふれ合いに満足して帰ります。わたしが那須で出会ったのは、家具屋の面白いおばちゃんでした。ふらっと入ると「テレビに出てより普通の顔してるな」と言われ楽になりました。世間話をしながら漬物を食べて、お付き合いが始まりました。那須にはほかに、大らかで笑顔の明るい名物ばあちゃんがあります。奥入瀬にも、幸せそうに自慢しながら語る人がいたら印象に残ります。観光地には、そうした人と人の心の開拓者が必要だと思います。地元のよさに浸って自然に甘えてください。自然は必ず答えをくれます。そのいただいた答えを和やかに、幸せそうに観光客に分けてください。

基調 講演

観光カリスマ、
JTIC.SWISS代表
山田 圭一郎氏

やまだ・けいいちろう 1965年生まれ。三重県津市出身。スイス・ツェルマツ観光局を経て、年、JTIC.SWISS(日本語インフォメーションセンター)を設立。地域振興・再生のコンサルタントとして多くの成果を残したほか、大学の客員教授なども務める。



テーマ「観光で奥入瀬・十和田を 元気にするためのヒント」

わたしが「ツェルマツに住んでいます」と話すと「いいところに住んでるね」と言われます。十和田もそんな地域にしてみませんか。ここが最大のヒントです。みなさんが「うちには奥入瀬という豊かな自然がある」と誇りを持っていないと誰も来ません。外から来た人に「十和田、奥入瀬には何もない」と口にしていませんか。十和田のバラ焼きも、地元の人のおいしいと言っているから食べに来るのです。今後新しくバイパスができて、自然を楽しむツアープログラムができるかもしれません。徹底的に「奥入瀬・十和田人」になってください。この地に生まれ、育って良かったと誇りを持つことが大事です。目先だけでなく将来のことを考え、この地に住んで幸せとを感じる「感幸地」を目指してください。

奥入瀬溪流エコロードフェスタの記録

